季節到来！美味しい台湾のマンゴーを食べよう。

中央気象局が雨季の正式な終了を発表した今週。本格的な夏に突入した台湾は、各地で35度を超える程の暑さを記録している。日本と同じように温暖化の影響を受けている台湾、通常であれば台湾の端午の節句にあたる端午節(ダンウージエ)が終わる頃に気温が一気に上がり、夏に入るのだが、年々雨季の期間が短くなっているようにも思える。また記録的な豪雨による水害も深刻で、川沿いのさまざまな地域で被害をもたらしている。

例年に比べると雨量が少なかった為、**今年はマンゴーが大豊作のようだ**。最も早く収穫が始まる南部の**屏東(ピンドン)**ではマンゴーフェスティバルが開催され、ネットニュースやテレビを通して美味しいマンゴーをPRしている。もうひとつの名産地**台南(タイナン)**では**過去一番の大豊作**が見込まれ、注目が集まっている。一般的にマンゴーの収穫量は豊作年とそうでない年が１年ごとに来ると言われ、今年は大当たりの年と言えるだろう。

画像１

**台北の果物店に並ぶ愛文マンゴー、地元の台湾人からも人気だ**

しかしながら、最大の出荷先である中国への販路が閉ざされている事、３年間に渡るコロナのパンデミックにより、世界各地で販売ルートが狭まっており、今後の販路の拡大が目標とされている。また収穫量が大幅に増えたことで単価が下がり、マンゴー農家の人々を悩ませているのも問題だ。現在多くのネットショップで台湾から輸入されたマンゴーを購入する事が可能なので、ぜひ今年の美味しいマンゴーを注文してみてはいかがだろうか。

マンゴーの主役といえばやはり日本人からの人気も高い**愛文マンゴー**だ。またの名をアップルマンゴーとも呼び、濃厚な香りと甘さが多くの人々を魅了している。

画像２

密が出て香りのいいものがお勧めとか

その他に筆者がお勧めしたいのがまだ日本には出回っていない**「水蜜桃芒果(シュイミータオマングォ)」**という桃と掛け合わせた品種のマンゴーだ。

画像3

**よく見ると色味が桃に似ている…**

価格は定番の愛文マンゴーと比べるとかなり高め。店によっては１つ250元(日本円で1150円ほど)以上する事も。

ケーキ２つ分買った気分で購入してみたところ、非常に滑らかな食感と、甘い香り、桃のような上品な後味を楽しめた。デパートや果物専門店で購入可能。昨今スーパーでも販売されているのを見るが、名前だけで味はそれほどでもなかったようだ…。

ぜひ台湾へ出かけて現地で美味しいマンゴーを食べてみよう！